

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600158
事業所名	グループホーム あいか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入し、夏祭りや盆踊り等地域行事に参加したり、日常の散歩で顔なじみになりへちまをもらったり、近所の人がチラシでゴミ箱を作って事業所に届けてくれたり地域住民との交流を深めている。幼稚園の運動会に招待されたり、中学校の福祉体験学習の受け入れで、利用者はこどもたちとの交流を楽しんでいる。また、事業所の夏祭りには近所の人が大勢参加している。和太鼓や日舞等のボランティアの慰問があり利用者の楽しみとなっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み（外部評価項目：3）	評価
	会議は、家族代表・自治会長・いきいき支援センター職員・管理者の参加を得て、年6回小規模多機能型と合同で開催している。会議では行事報告やアンケートに対する取り組み・介護相談について話し合っている。参加者からいろいろな意見やアドバイスを心得、サービスの向上に努めている。議事録を玄関に設置し、いつでも見る事ができるようになっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	何かあれば相談したり、わからないことがあれば聞くなど、日ごろから連絡を取っている。また、管理者はいきいき支援センター主催の「介護教室」や名古屋市認知症実践者研修の講師を務め、協力関係を築いている。地域で介護相談があれば、いきいき支援センターにつなげ協働して取り組んでいる。市町村主催の研修にも参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等の意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会はないが、餅つき・新年会・夏祭り・日帰りバス旅行の遠足（年2回）などで家族同士交流を行っている。もう1回食事会を行いたいと検討中である。年1回事業所独自のアンケートや事業所への訪問時に意見や要望を聞き、ミーティングや運営推進会議で話し合い速やかに対応をしている。行事予定と利用者の写真を記載した「グループホームあいか通信」と今週の様子を1週間ごとに記録し1か月まとめたものを毎月送っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	一	一	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認

を行う。